

令和7年度千葉市イノシシ・アライグマ対策のためのアンケート調査結果概要

調査用紙配布：2025年12月 回収：2026年1月21日

調査対象：農業組合及び地域対策協議会（緑区及び若葉区の一部） 実施：千葉市農政センター農業経営支援課（調査受託業者 合同会社AMAC）

調査用紙配布数 129件、回答数 85件（回答率 65.8%）

→この調査結果を踏まえ、本市のイノシシ・アライグマ対策を促進していきます。調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

結果(アンケート調査結果の一部)

イノシシの出没・被害の情報が寄せられている地域は緑区東部、若葉区の北部・東部が中心。緑区の東・南部は、大網白里市及び市原市との境付近に生息情報が集中しています。若葉区は北の佐倉市、八街市との市境付近の出没が顕著。若葉区は多部田町、加曽利町付近まで拡大しており、中央区の赤井町でも被害が発生しています（図1）。

今後、佐倉市との境付近から中田町付近を経由し、都川河川を伝って、多部田町～加曽利町へ至る侵入経路等には警戒が必要です。特に中田町、多部田町、平川町については住宅地出没のイノシシ共有源となる可能性もあり、対策が急がれる地域と考えられる。

アライグマの被害は緑区、若葉区全域で報告がありました（図2）。特に被害が深刻な平川町、平山町、加曽利町などで対策が必要です。

アライグマの被害については、農作物の食害（農作物を食べられる）以外にも家屋侵入（屋根裏などの住み着きなど）などイノシシ等とは違った被害が発生しています。アライグマ、ハクビシン、タヌキ等の中型獣に効果的な電気柵や捕獲手法（小型箱わなによる捕獲）が検討されます。

これまで、千葉市各地にてアライグマ等の中型獣集中捕獲事業も実施しています。地域ぐるみで被害を減らすための対策を推進しましょう。

※イノシシ、アライグマを含む、野生動物による被害の軽減のための対策については、行政、地域住民、専門家の協働が効果的です。お気軽にご相談下さい。

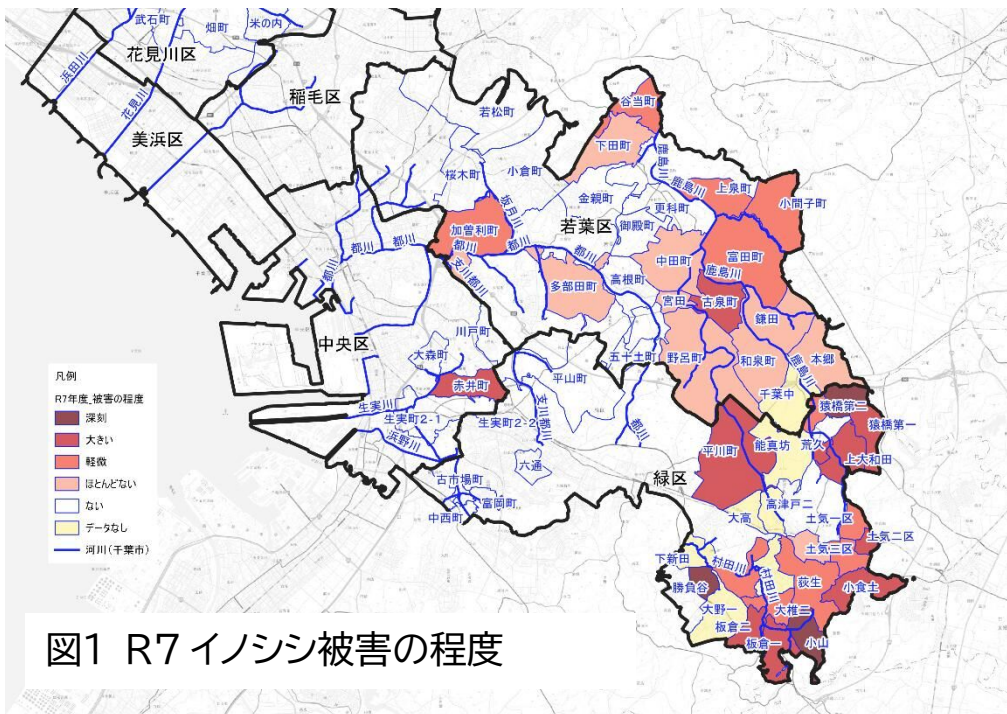


図1 R7 イノシシ被害の程度

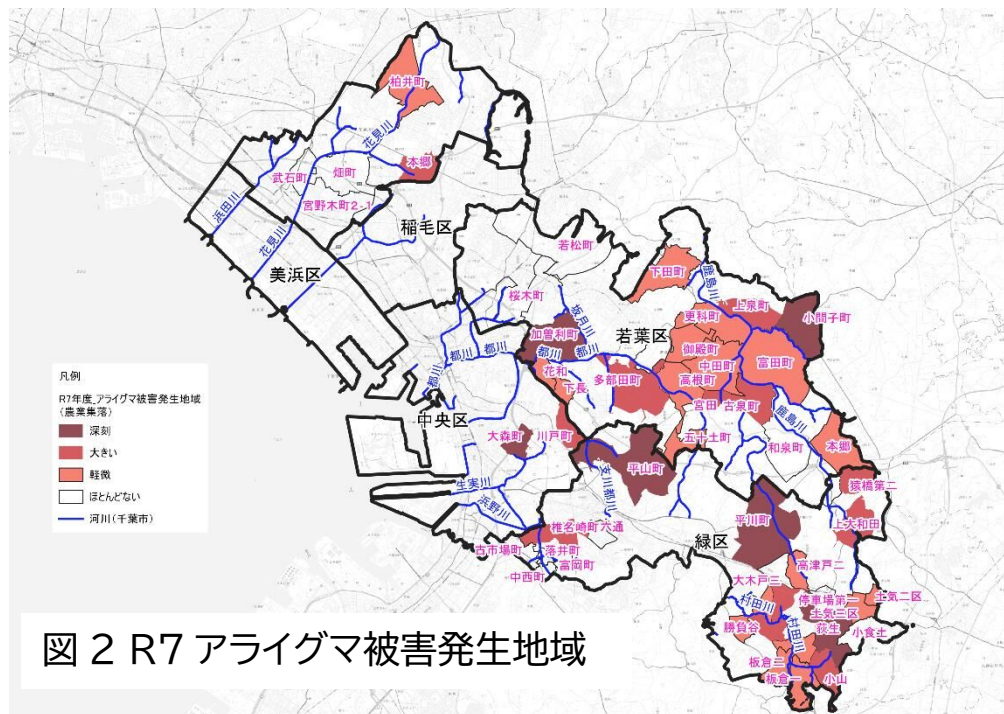


図2 R7 アライグマ被害発生地域